

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2025年第9週 2025年2月24日（月）～2025年3月2日（日） 2025年3月6日作成

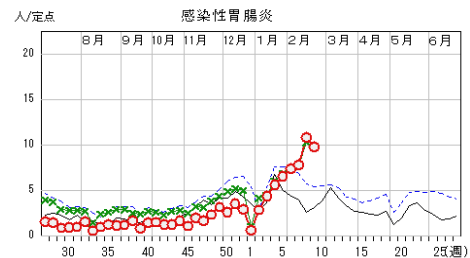
☆定点※報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1） 感染性胃腸炎

第9週の報告数は432人で、前週より46人少なく、定点当たりの報告数は9.82であった。

年齢別では、10～14歳（67人）、1歳（61人）、2歳（45人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、佐世保市保健所（19.00）、長崎市保健所（15.00）、県北保健所（12.00）であった。

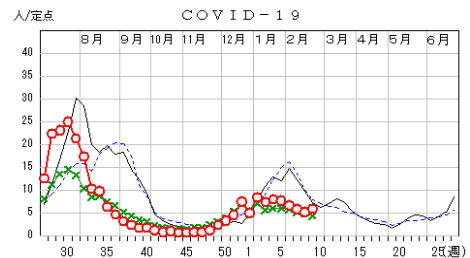


（2） 新型コロナウイルス感染症

第9週の報告数は413人で、前週より51人多く、定点当たりの報告数は5.90であった。

年齢別では、80歳以上（64人）、10～14歳（46人）、60～69歳（43人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、上五島保健所（15.67）であった。

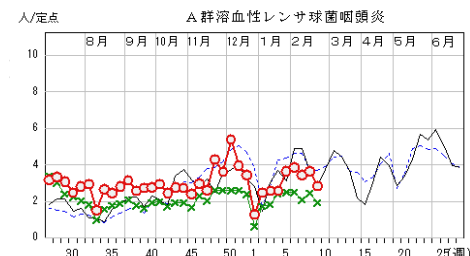


（3） A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第9週の報告数は125人で、前週より36人少なく、定点当たりの報告数は2.84であった。

年齢別では、10～14歳（34人）、5歳（13人）、2歳（12人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（15.40）であった。



○—○ 当年(長崎県) — 前年(長崎県)
×—× 当年(全国) - - - 前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【感染性胃腸炎】

第9週の報告数は432人で、前週より46人少なく、定点当たり報告数は9.82でした。地区別にみると、佐世保地区（19.00）では、警報レベルの報告数となっています。前週より減少しましたが、今後も動向に注意しましょう。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

第9週の報告数は413人で、前週より51人多く、定点当たり報告数は5.90でした。地区別にみると、上五島地区（15.67）は他の地区より多くなっています。年代別では、10歳未満（19%）、80歳以上（16%）、10代（14%）の順に多くなっています。多くの地区で前週より増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避など基本的な感染対策に努めましょう。

詳細は長崎県感染症情報センターホームページ「新型コロナウイルス感染症」に掲載しています。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第9週の報告数は125人で、定点当たりの報告数は2.84でした。地区別では、県南地区（15.40）が警報レベルの報告数となっています。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。

★トピックス：感染性胃腸炎を予防しましょう

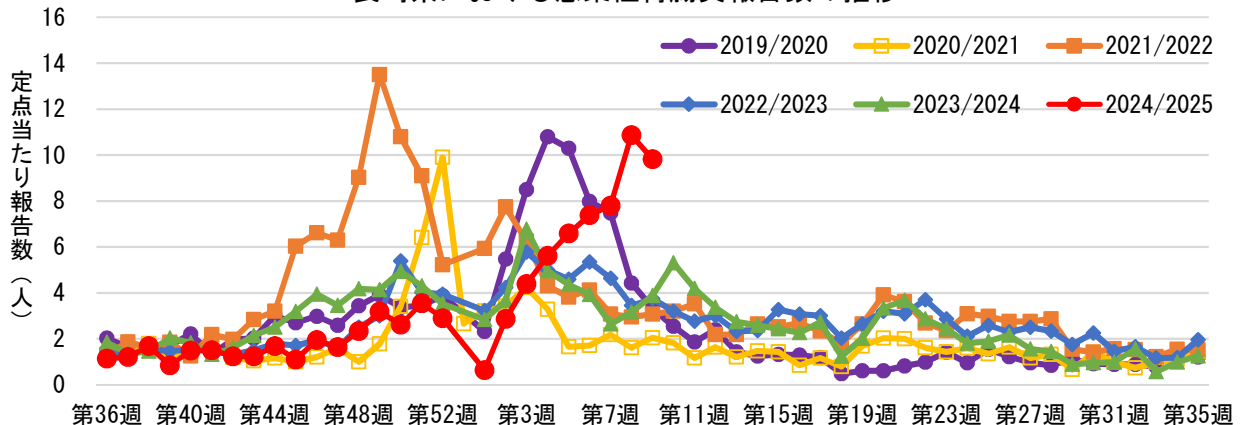
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、県内の小児科定点からの報告を集計しています。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

感染性胃腸炎の第9週の定点当たり報告数は「9.82」でした。地区別では、佐世保地区（19.00）が警報レベルの報告数となっています。

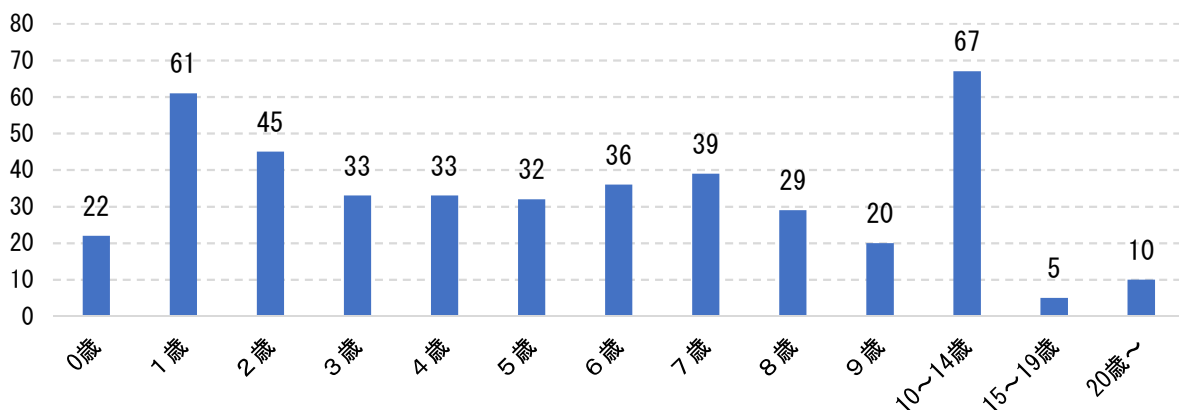
年代別では、10～14歳（16%）、1歳（14%）、2歳（10%）の順に多くなっています。

予防には手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、感染防止に努めましょう。

長崎県における感染性胃腸炎報告数の推移



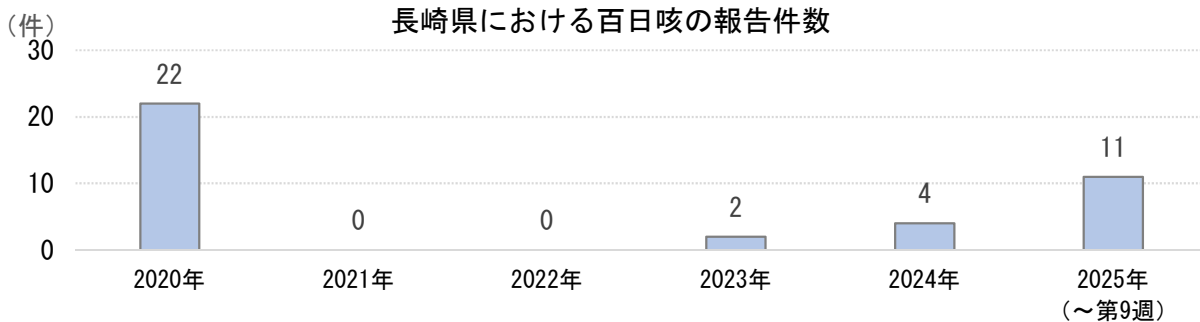
(人) 長崎県における感染性胃腸炎の年齢別報告数（第9週）



★トピックス：百日咳の報告が多くなっています

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いことも特徴で、回復までに2～3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。

ワクチンの定期接種により発生数は激減していますが、2025年は第9週までに11件の報告があり、過去3年と比較して多くなっています。感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。



★トピックス：インフルエンザに注意しましょう

インフルエンザの2025年第9週の定点当たりの報告数は「0.93」で、7週続けて減少しました。

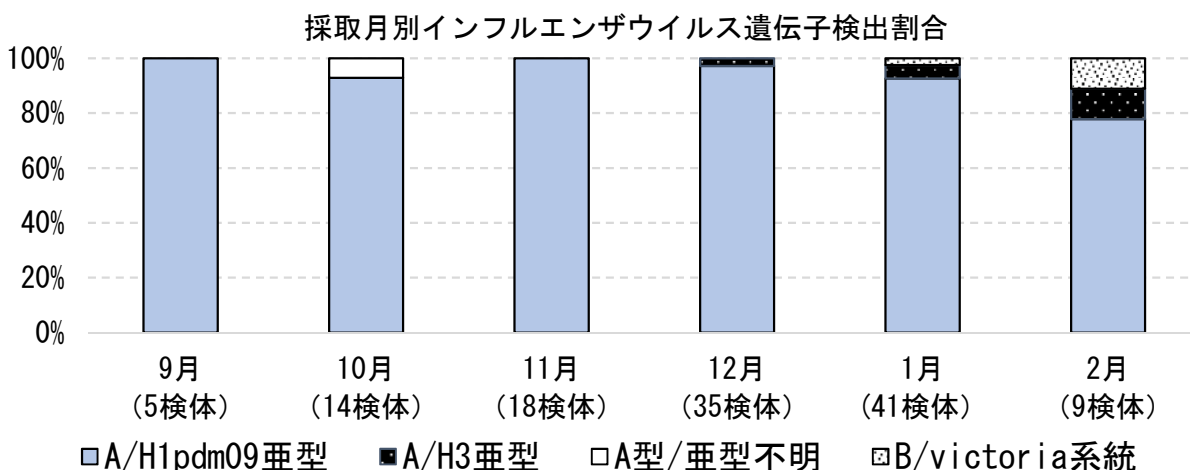
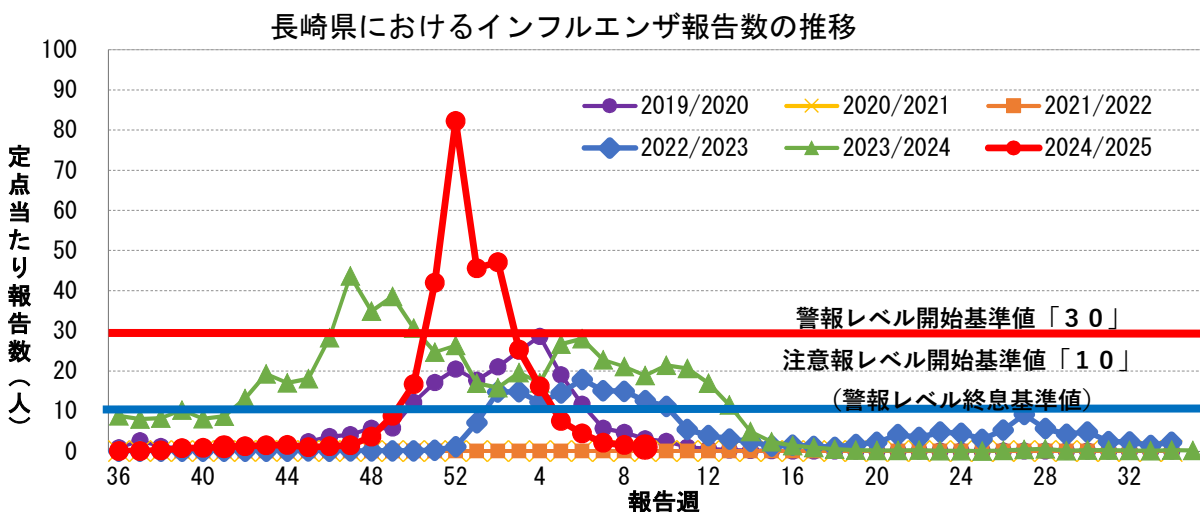
地区別にみても、多くの地区で前週より減少しました。

年代別では、10代（35%）、10歳未満（32%）が多くなっています。

また、長崎県環境保健研究センターにおいて、2024/2025シーズンに搬入された検体から、インフルエンザA/H1pdm09、A/H3、B/victoria系統の遺伝子が検出されています。

今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。

発生状況は、長崎県感染症情報センターホームページ「インフルエンザ」にも掲載しています。



◆全数届出の感染症

2類感染症：結核 患者 男性（70代・1名）

3類感染症：報告なし

4類感染症：報告なし

5類感染症(全数把握対象)：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者 男性（80代以上・1名）
 女性（70代・1名）
 侵襲性肺炎球菌感染症 患者 女性（80代以上・1名）
 百日咳 患者 女性（10歳未満・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況

(第4～9週、1/20～3/2)

疾 患 名	定 点 当 た り 患 者 数					
	4週	5週	6週	7週	8週	9週
	1/20～	1/27～	2/3～	2/10～	2/17～	2/24～
インフルエンザ	16.14	7.51	4.40	2.10	1.50	0.93
新型コロナウイルス感染症	7.99	7.71	6.70	5.87	5.17	5.90
RSウイルス感染症	0.18	0.36	0.36	0.55	0.98	0.98
咽頭結膜熱	0.25	0.32	0.32	0.34	0.43	0.34
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.57	3.66	3.84	3.45	3.66	2.84
感染性胃腸炎	5.61	6.59	7.39	7.80	10.86	9.82
水痘	0.36	0.18	0.39	0.16	0.34	0.18
手足口病	0.16	0.09	0.11	0.02		0.02
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.32	0.34	0.30	0.07	0.23	0.11
突発性発しん	0.23	0.16	0.34	0.25	0.09	0.18
ヘルパンギーナ						0.05
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.02		0.05		0.05	
急性出血性結膜炎	0.38	1.00	0.25	0.38		0.50
流行性角結膜炎	1.50	1.63	1.38	1.75	2.00	0.75
細菌性髄膜炎				0.08		
無菌性髄膜炎	0.08					0.17
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.50	0.25	0.50	0.42	0.50
クラミジア肺炎（おたふく病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08	0.25	0.08		0.17	0.08

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況

(第9週、2/24～3/2) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾 患 名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	0.93	1.00	1.06		0.33	1.55	0.75	1.50	0.25	1.33	
新型コロナウイルス感染症	5.90	4.55	7.00	1.00	2.17	7.09	7.25	7.25	2.00	15.67	2.67
RSウイルス感染症	0.98	2.00	0.50		1.75	1.00	1.40	0.67	0.33	1.00	
咽頭結膜熱	0.34	0.17	0.40		0.75			2.33			
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	2.84	2.00	0.60			1.71	15.40	3.33	0.33		3.50
感染性胃腸炎	9.82	19.00	15.00		10.50	11.29	2.20	12.00			
水痘	0.18	0.33	0.40		0.25			0.33			
手足口病	0.02					0.14					
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.11		0.30		0.25						0.50
突発性発しん	0.18	0.50	0.20		0.75						
ヘルパンギーナ	0.05		0.20								
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）											
急性出血性結膜炎	0.50						4.00				
流行性角結膜炎	0.75		1.33				2.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎	0.17	1.00				1.00					
マイコプラズマ肺炎	0.50		1.67				1.00				
クラミジア肺炎（おたふく病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08		0.33								